

(書式 1 - 1 - 1 3 - 4)

未成年後見監督人を指定する遺言書

遺 言 書

遺言者〇〇〇〇は、次のとおり遺言する。

遺言者は、未成年者である三男〇〇〇〇（平成〇〇年〇〇月〇〇日生、後見人  
〇〇〇〇）のため、後見監督人として〇〇〇〇（住所、生年月日）を指定する。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

遺言者            〇   〇   〇   〇            印



*Asahi Chuo*

## 解説

後見監督人は、必ず置かなければならない機関ではない。後見人指定の遺言で同時に後見監督人を指定してもよく、後で別の遺言で指定してもよい。後見人の欠格事由のある者の外、後見人の配偶者、直系血族及び兄弟姉妹は、後見監督人になれない（民法第852条、第847条、第850条）。

